

修 士 論 文

論 文 題 目

平成 28 年度

指導教員 渡邊英徳

(15893507)

木村汐里

首都大学東京大学院
システムデザイン研究科 博士前期課程
インダストリアルアート学域

提出日：平成 29 年 1 月 25 日

論文タイトル
— 副題（必要であれば記入）

要旨

ここには日本語文章のみで論文要旨を記述してください。

Title
— **Subtitle**

Summary

The author shall write a thesis in English text. 150 words.

目次

要旨	i
Summary	ii
1 序論	1
1.1 本研究の概要	1
2 TEX のインストール	1
3 文字コード	2
4 論文の構成	2
5 論文のフォーマット	3
5.1 レイアウト：Microsoft Word	3
5.2 レイアウト：TEX	3
5.3 図表の入れ方	3
5.4 参考文献の書き方	4

1 序論

本研究の概要, 背景と研究目的について述べ, 本論文の構成について説明する.

1.1 本研究の概要

本研究では, 集落組織が弱体化した過疎地域における「対話と交流の“場”」を形成する手法について検討する. そのために, 新潟県魚沼市の過疎地域である横根地区に実際に滞在し, 住民とともに“場”の形成を実践する. まず, 先行研究や先行事例を整理し, 限界集落における地域活性化の活動における「対話と交流の“場”」の位置付けを明らかにする. さらにワークショップ手法の先行事例について検討し, “場”における話題を促進するコンテンツと, 世代・性別ごとの参加プロセスに注視することの重要性を導き出す. この結論に基づき, 過疎地域における「対話と交流の“場”」のプログラムデザインを設計する. 実際の集落においてこのプログラムを用いて“場”の形成を実践を通して比較検証した結果, 地域の多様な世代が参加し, 活発な意見が交換される場が形成された. さらに, 活動の内容を SNS で地域外に発信し, 広く共有することによって, 地域内外が相互作用を生む場も形成された. このことから, 創出したプログラムデザイン手法は妥当であり, 過疎地域における対話と交流の“場”が形成を促されたといえる. これは, 専門家でなくとも利用可能であり今後, 国内に増えていくと予想される限界集落における諸問題を解決するための, 一つのモデルとなりうる.

2 T_EX のインストール

T_EX を利用して論文を作成する際, 予めそれらに関するソフトウェアを導入必要がある. まずあなたが T_EX 初心者である場合は TeX Wiki ^{*1} を参照することから初めて欲しい. 各 OS に関してインストールには様々なやり方が存在するが, 個人的には以下が初心者にとって最も利用しやすいインストールパッケージである.

- Windows : TeX インストーラ ^{3*2}
- Mac OSX : MacTeX^{*3}

^{*1} <http://oku.edu.mie-u.ac.jp/okumura/texwiki/>

^{*2} <http://www.math.sci.hokudai.ac.jp/abenori/soft/abtexinst.html>

^{*3} <http://www.tug.org/mactex/2011/>

TeX の扱い方について、不明な点がある場合、ウェブ上に大量の参考資料があるので、基本的には自己解決してください。TeX を利用することにあまり自信がない方は Microsoft Word を利用してください。

3 文字コード

このファイル main.tex は UTF-8 の文字コードにて記述されています。例えばデフォルトの TeXShop 等では編集画面が文字化けして表示されると思います。環境設定で文字コードを UTF-8 に変更してください。

4 論文の構成

論文は本論を含め以下の 1–8 の項目を含むこと。

1. 表紙 … 論文全体の内容を表す表題、指導教員名、提出年月日、学修番号、氏名等を記載すること。
2. 要約 … 論文全体の要約を和文 2000 字程度、英文 150 語程度で記述すること。研究の背景、目的、実施内容、その手法と結果、結論を簡単明瞭に網羅すること。
3. 目次 … 論文の章・節の番号とその表題およびページを記入すること。
4. 序論 … 論文の第 1 章では序論として、その分野における本研究の位置付け、歴史的背景、本研究の目的を述べること。本研究が従来の研究とどういう関係にあり、どのような点を明らかにすることを目的とするか、本研究がどういう点で新しいかを明確に述べる必要がある。
5. 本論
6. 結論 … 論文の最後の章に結論を設けること。研究目標に対してこの研究がどこまで到達できたかを検討し簡単に記述すること。また、本研究で成し得なかった事項、今後の課題等も述べるとよい。
7. 謝辞… 研究を遂行する際、援助・協力等があった場合、必要に応じて謝辞を記すこと。
8. 参考文献 … 研究内容に直接関係のある文献、引用した文献等は必ずその出処を明らかにすること。

各項目は節で構成される。具体的には section を利用する。副節は subsection

を利用する。

5 論文のフォーマット

5.1 レイアウト：Microsoft Word

用紙のサイズは A4. 印刷は片面印刷とし、余白は上 35mm、他下左右 30mm とし、ヘッダーの用紙の端からの距離は 15mm、ヘッダーのそれは 17.5mm とします。Microsoft Word の標準設定であり、Microsoft Word の使用者は特に設定する必要はないです。用紙の確認は、「ファイル」メニューより「ページ設定」、余白と用紙サイズが以下のようにになっているかを確認します。本文の日本語フォント種類は MS 明朝、英語フォントは Times New Roman とします。フォントの大きさは 10.5 ポイント。本文中で使用する英語や数字は基本的に半角文字とします（表記が論文内で統一されていればどちらでもよい）。また、句読点「、．、。」も論文内で統一します。論文のレイアウトは、A4 文字の大きさは 12pt とし、1 行当たりの字数を 40 字、行数を 30 行とする。修士論文の場合 50 ページ程度を標準とする。用紙の下中央に連続したページ番号を付けること。

5.2 レイアウト：TeX

原則は、上記で示した Microsoft Word の形式の通りとなります。ただし字数に関しては TeX が最適な字間を決定するため、あくまで 40 字は目安となります。

5.3 図表の入れ方

図は figure、表は table にて挿入する。図 1 は日野キャンパス外観を示す。本稿で利用できる画像形式は jpg, png を中心に利用されたい。ただし EPS, TIFF も利用できる。どちらの場合も解像度を考慮してデータを作成すること。

図を複数枚横に並べて表示したい場合は、minipage を利用する。と図 2 の様に表示できる。

論文の中に図や表を貼り付ける際には図表 1、2 のように表組みを利用して縦横に複数並べるか、あるいは、図表 3 のように図表の左右に本文を流し込まないようにします。そのためには、図（表）を右クリックして現れる、書式設定内の「レイアウト」タブを「行内」に設定します（図 3 を参照）。図や表の配置は、その大きさと文章と

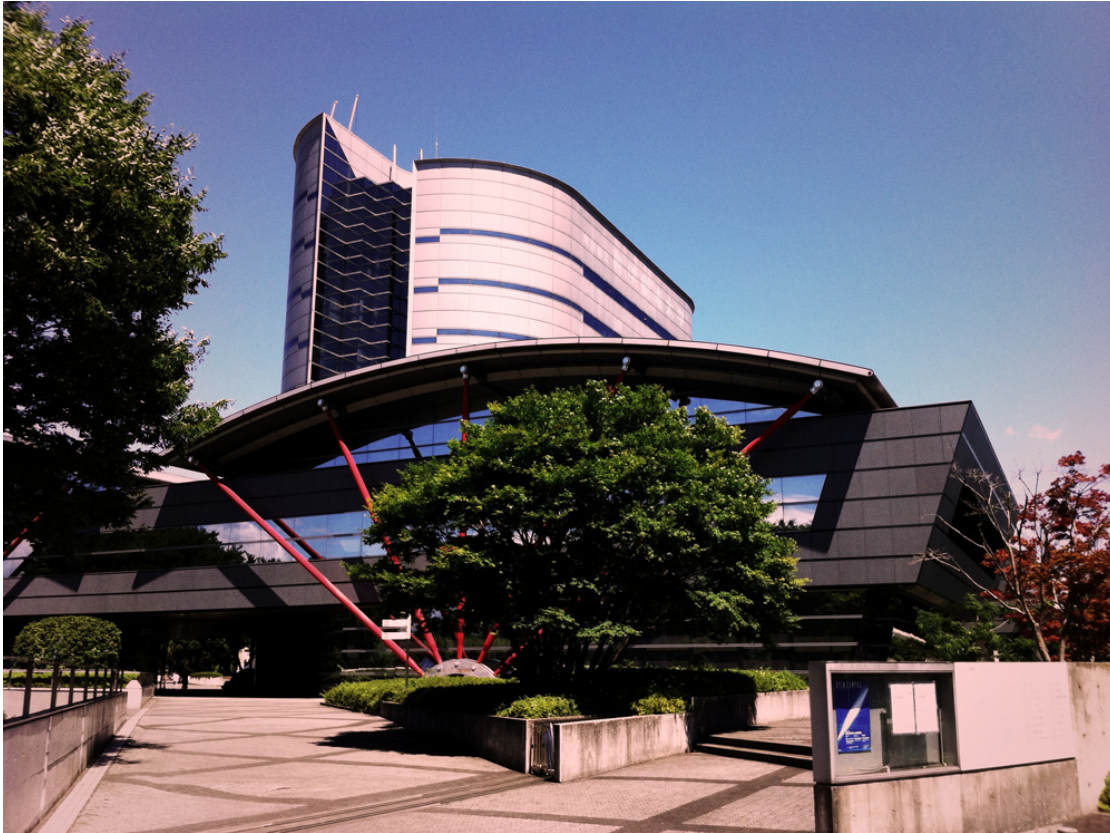


図1 首都大学東京日野キャンパス

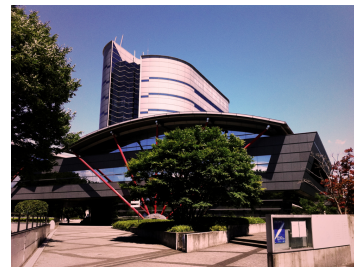
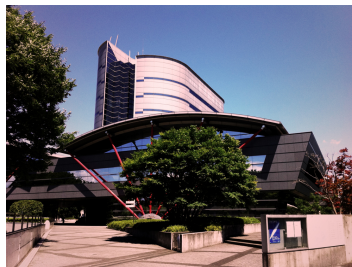
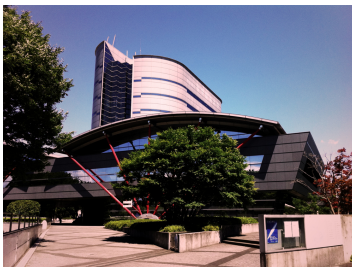


図2 日野キャンパス横並び

ページの空き具合で次のページに自動的に移動されます。また、文章領域内におさまるように絵の大きさを調整します。

5.4 参考文献の書き方

参考文献は、ジャーナルの場合、著者名・タイトル・雑誌名・巻号・ページ・発行年、著書の場合は、著者名・書名・発行所・発行年、以上の順に書くこと。著者が複数の場合も略さず全著者名を記入すること。これに関しても分野によっては、記述形式・

記述順番が異なるので、指導教員にあらかじめ確認してください。T_EX では文献を thebibliography 以下に列挙し、リスト名を作っておくことで、適時 [1] などと citation ができる。なお参考文献の作成の仕方は幾つかあり、下記の記述方法はユーザが手動で入力する方法である。

参考文献

- [1] 著者名 1, 著者名 2 論文タイトル名、発表シンポジウム・会議名、発表学会名、
記事番号やページ、発表年

論文の提出期限

大学院は大学院教務委員に確認し、学部生は指導教員に確認してください。